

## 総合的な学習の時間 「福祉体験学習」

相模原市立新町中学校



### 単元（題材）目標

- 探求的な学習の学びの基礎となるスキルを体得させる。
- いのちの体験的・実践的学習を通して、課題解決能力を育成する。
- 福祉の取り巻く現状・問題の探求から、よりよい福祉とは何かを考えることのできる生徒の育成を目指す。

### （1）実施時期

令和元年5月28日（火）

### （2）対象（学年等・人数）

第1学年 164名

### （3）指導者（教諭・外部講師等）

本校教諭：第1学年職員

外部講師：相模原市社会福祉協議会



### （4）実施内容

- 聴覚障がい者とのコミュニケーション(手話)
- 聴覚障がい者とのコミュニケーション(要約筆記)

### （5）成果

- 手話に興味を持ち、手話で簡単な挨拶や自分の名前を伝えられるようになった。
- 限られた時間ではあるが、手話体験を通して、聴覚障がい者に対する理解を深めることができ、関心を持った生徒からは「もっと勉強したい」という声も聞かれた。
- 「話せることが当たり前と考えていたが、当たり前に行っていることに感謝の気持ちを持ち、自分に可能な活動から始めてみたい。」という感想が聞かれた。

### （6）その他

- 聴覚障がい者の理解にとどまることなく、自分たちの周りで生活する全ての人が理解し合い、協力して安心した生活が送れるよう考えていくことの重要性を理解させることができた。
- 今後も福祉体験学習を通して障がい者への理解を深めていきたいと考えている。